

# Coffee Market Report



INTERNATIONAL  
COFFEE  
ORGANIZATION

May 2023

## ロブスタは28年ぶりの高値を付けたが、ICO複合指標価格は175.48セントに下げた

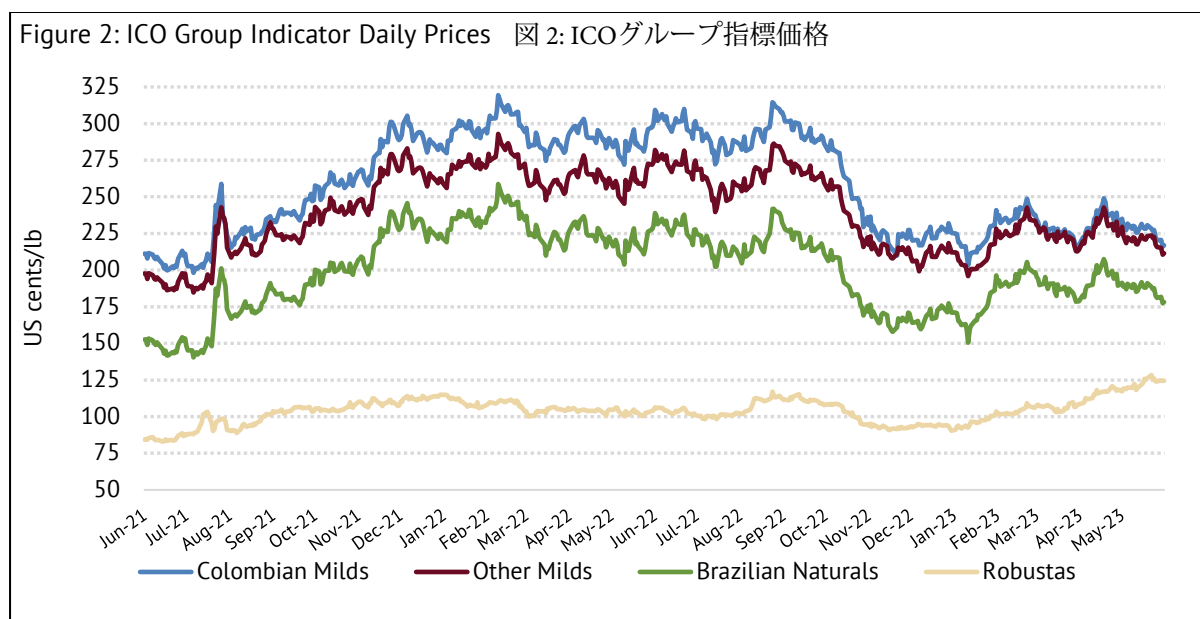
- ICO複合指標価格（I-CIP）は2023年4月から5月までに1.7%下落し、5月の月次平均は175.48セント（米ドル/ポンド、以下同様）となり、中央値は176.70セントだった。
- 5月のグループ指標価格は、ロブスタが5.9%上昇し122.55セントだったが、その他は全て下落した。
- コロンビアのマイルドとアザーマイルドの価格差は28.6%拡大して6.81セントとなり堅調な伸びを示した。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は13.8%縮小して70.57セントだった。
- I-CIPの5月のボラティリティは安定的に推移し0.1ポイント低下して8.6%だった。
- ニューヨークのアラビカ認証在庫は前月比11.2%減少し66万袋、ロンドンのロブスタ認証在庫は5.9%増加し139万袋だった。
- 2023年4月の世界のグリーンコーヒー輸出量は921万袋で、前年同月の948万袋から2.9%減少した。
- アザーマイルドの4月輸出量は0.3%増の200万袋だった。
- ブラジルナチュラルは8.7%減の265万袋だった。
- コロンビアマイルドは2022年4月の90万袋から2023年4月は14.3%減少し77万袋だった。
- ロブスタは2022年4月の349万袋から2023年4月は2.8%増加し359万袋だった。
- 南米の4月輸出量合計（全形態）は6.4%減の357万袋だった。この地域の主要原産地であるブラジル、コロンビア、ペルーの3カ国が低迷したため、合計輸出量は17.9%減少した。
- アフリカの輸出量合計は2022年4月の104万袋から2023年4月には9.8%減少し94万袋だった。
- メキシコ・中米は2022年4月の178万袋から6.3%増加し190万袋だった。
- アジア・オセアニアは2023年4月に1.0%減少して375万袋となったが、2022/23コーヒー年度経過7か月間では1.1%増の2,755万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの輸出量は2022年4月の88万袋から2023年4月は3.7%減少し87万袋だった。
- 焙煎豆は2022年4月の6万2,689袋から2023年4月は38.6%増の7万2,925袋だった。
- 世界のコーヒー生産量は、2021/22コーヒー年度が前年比1.4%減の1億6,850万袋だったのに対して、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界のコーヒー消費量は、2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋、2022/23年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足が予想されており、2022/23年のコーヒー年度には730万袋の不足が見込まれる。

## グリーンコーヒー価格

ICO複合指標価格（I-CIP）は2023年4月から5月までに1.7%下落し、5月の月次平均は175.48セントとなり、中央値は176.70セント、5月の価格レンジは169.97～179.19セントだった。2021/22年度と2022/23年度において輸出量、生産量がともに縮小したことが市場に継続的に圧力を加えたため、I-CIPは引き続き堅調を保った。ロブスタの月次平均は1995年8月の130.18セント以来の最高値を付けた。



5月のグループ指標価格は、ロブスタが5.9%上昇し122.55セントだったが、その他は全て下落した。コロンビアマイルド、アザーマイルドはそれぞれ3.4%、4.1%下落して226.93セント、220.12セントだった。ブラジルナチュラルは4.3%下落し186.80セントだった。ニューヨーク先物市場は2.2%下落したが、ロンドン先物市場は6.8%上昇し、それぞれ183.13セント、112.56セントだった。



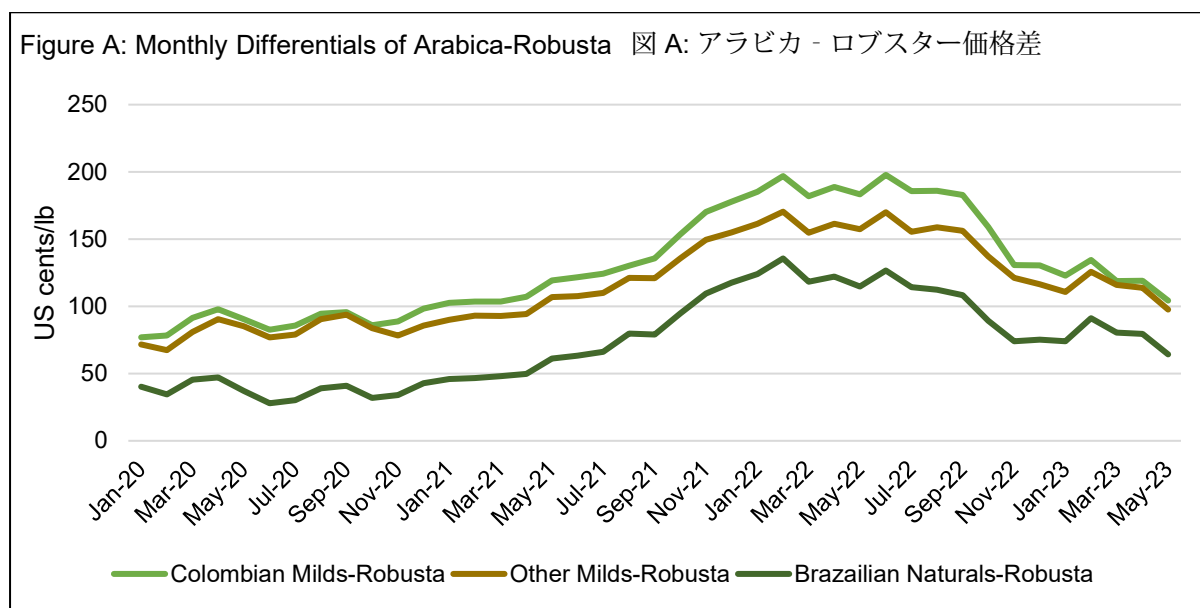
5月のコロンビアのマイルドとアザーマイルドの価格差は、28.6%拡大して6.81セントとなり堅調な伸びを示した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差も1.4%拡大し40.30セントだった。一方、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は12.4%縮小し104.38セントだった。また、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は2.9%縮小し33.32セント、アザーマイルドとロブスタの価格差は14.3%縮小し97.57セントだった。最も大きく縮小したのはブラジルナチュラルとロブスタの価格差で19.2%縮小し64.25セントだった。

ロブスタとアラビカの価格差は2022年の半ばから縮小を続けている。この要因は、ロブスタ価格が相対的に急速な上昇を示したことに端を発し、その後、2022年第4四半期を通じてアラビカ価格が相対的に急速に下落したことがある。2023年の年初以降、アラビカ価格は低迷している。一方、ロブスタ価格が着実な上昇を見せている。2023年4月中旬以降、ロブスタ価格の上昇は他のグループの価格動向とは切り離されており、これにより2023年5月のロブスタとアラビカの価格差の縮小が加速し、現在は、過去の最低だった2021年第1四半期から第2四半期以来の最低水準となっている。

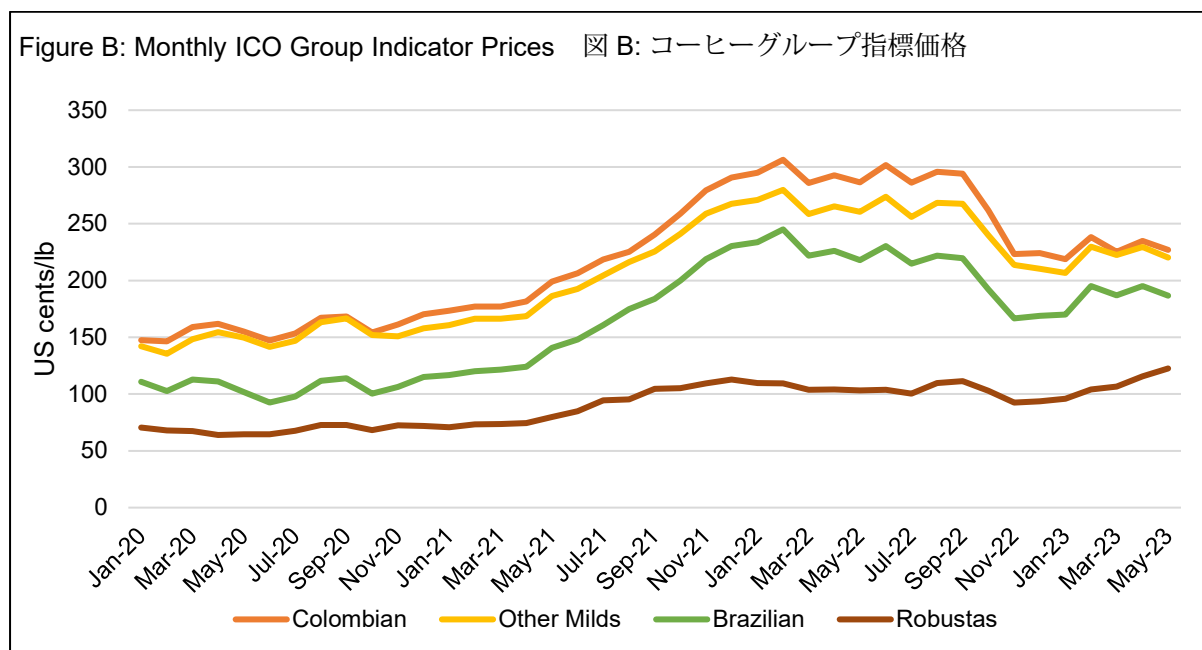
ロブスタの価格は過去12か月間、特に需要面からのファンダメンタルズサポートを受けてきた。これは、同期間のアラビカの輸出量（生豆のみ）が6.8%減少しているのに比較してロブスタ輸出量の減少が0.3%に止まっていることから分かる。

輸出量の動向は、生活費の値上がり直面して、インスタント/焙煎/RTDなどのブレンドミックスがアラビカからロブスタにシフトしたことを反映していると推測される。

同期間において、世界経済は大半の地域で急激なインフレが発生しており、ユーロ圏の統一消費者物価指数（HICP）は、2021年3月～2022年4月が4.4%だったのに対し、2022年3月から2023年4月では8.8%に上昇し、日用品の購入価格が高騰した。インフレ率の上昇に伴い金利も上昇する。米国連邦準備制度理事会は、2022年3月時点でほぼゼロだった基準金利を、2023年5月までに5%～5.25%の水準に引き上げ、また欧州中央銀行は2022年7月の0.5%から2023年5月までに主要金利を3.75%に引き上げた。これにより、借入金や住宅ローンの利払いなどに対する消費者支出が増加している。



2023年4月中旬以来、ロブスタ価格は、ベトナム、ブラジル、インドネシアの供給懸念を背景に供給サイドから強く支えられてきた。5月半ば、ベトナムでは今コーヒー年度の収穫量の約90%がすでに販売されているのに対して、世界第2位のロブスタ生産国であるブラジルからの供給量は例年に比べ大幅に減少していると報告された。2023年1月から4月の輸出量40万袋に対し、2022年同時期の実績は49万袋、また年度実績は124万袋だった。世界第3位のロブスタ生産国であるインドネシアのコーヒー輸出産業協会は、2023年のコーヒー生産量が栽培地域全体にわたる過度の降雨による被害により前年比20%減の960万袋になるとの見通しを発表した。これらの要因に対する評価が、ロンドン先物市場の倉庫に保管されているロブスタ認証在庫の増加に勝っていると言えよう。



ロンドン市場のロブスタ価格上昇率はニューヨーク市場アラビカを上回り、ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は13.8%縮小して70.57セントだった。

ICO複合指標価格の5月のボラティリティは安定的に推移し0.1ポイント低下して8.6%だった。アザーマイルドとコロンビアマイルドはボラティリティが最も大きく上昇し、それぞれ1.1ポイントと0.4ポイント上昇して10.3%と9.4%だった。ブラジルナチュラルは10.8%で横這い、ロブスタは0.3%ポイント低下し7.4%だった。ロンドンとニューヨークの両先物市場のボラティリティは、それぞれ0.4ポイントと0.7ポイント低下して7.5%と10.4%だった。

図3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

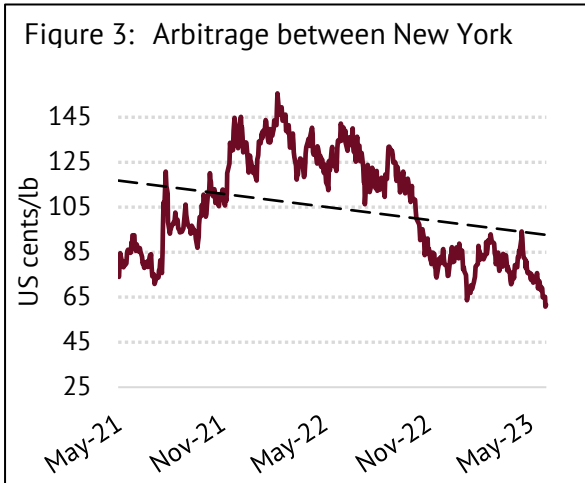
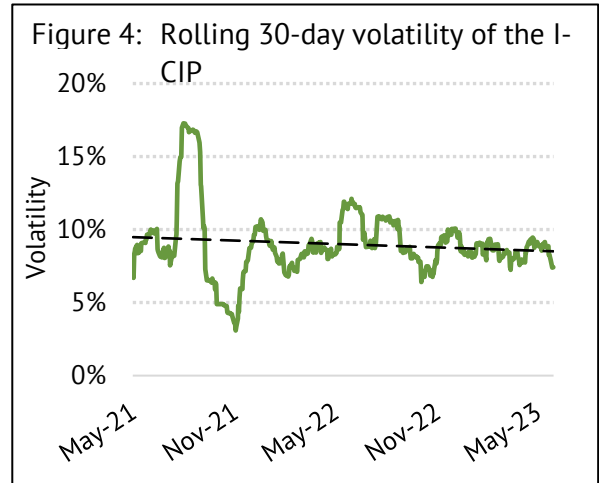
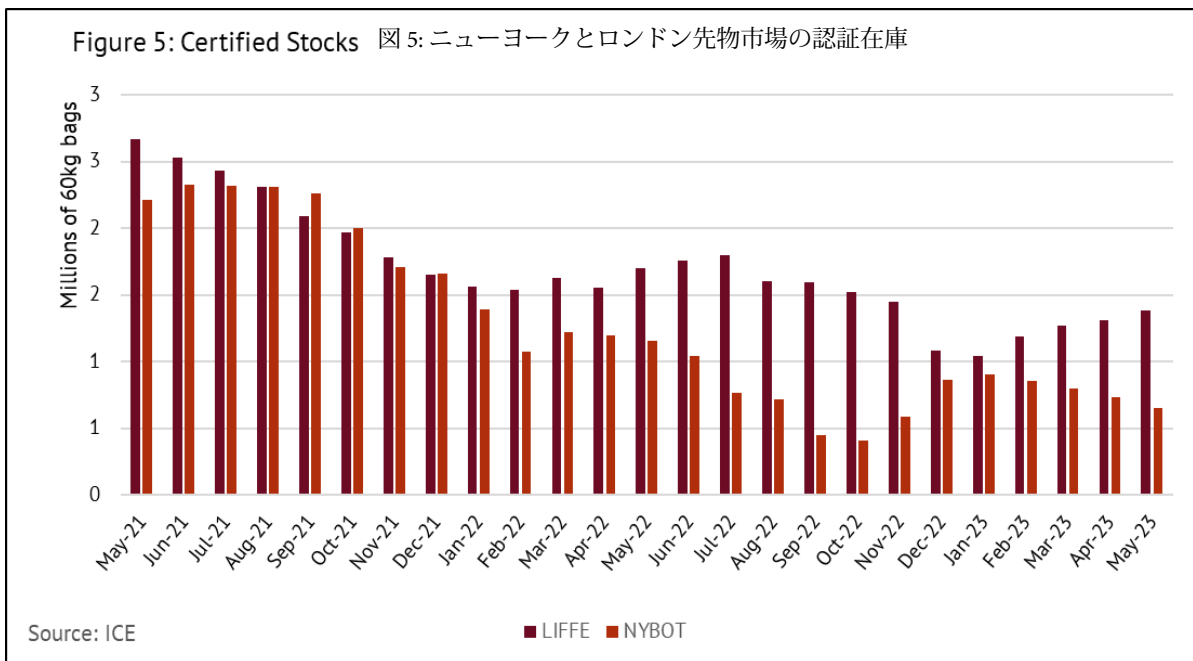


図4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ニューヨークのアラビカ認証在庫は前月比**11.2%**減少し**66**万袋、ロンドンのロブスタ認証在庫は**5.9%**増加し**139**万袋だった。



## コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2023年4月の世界グリーンコーヒー輸出量は921万袋で、前年同月の948万袋に対して2.9%減少した。減少の要因はコロンビアマイルドとブラジルナチュラルで、2022/23コーヒー年度が始まって以降、グリーンコーヒー輸出量合計は5か月連続で減少した。2022/23年の4月までの7か月累計は6,495万袋で前年同期の6,940万袋に対して6.4%減少した。

アザーマイルドの4月の輸出量は、前年同時期の219万袋から0.3%増の200万袋だった。アザーマイルドのグリーンコーヒー輸出が増加するのは、2022年3月の1.9%増加以来初めてであり、12か月連続の減少に歯止めがかかった。回復基調にもかかわらず、累計の輸出量は前年度対比での減少が続いており、2022/23コーヒー年度の経過7か月間では13.8%の減少、2021/22年度同時期の1,302万袋に対して1,122万袋だった。

ブラジルナチュラルの4月のグリーンコーヒー輸出量は8.7%減の265万袋、2022/23コーヒー年度経過7か月間では2,100万袋で前年同時期の2,308万袋から9.0%減少した。輸出量の動向はブラジルナチュラルの最大の生産者かつ輸出者であるブラジルのグリーンコーヒー輸出量の変動に依存しており、4月輸出量は240万袋で前年同時期の266万袋から6.4%減少した。

コロンビアマイルドの4月の輸出量は77万袋で、前年同時期の90万袋から14.3%減少した。要因は主な生産国であるコロンビアによるもので、コロンビアの4月のグリーンコーヒー輸出量は14.4%減少している。コロンビアマイルドの輸出減少は10か月連続しており、2022年10月から2023年4月までの7か月累計輸出量は635万袋で、前年度同時期の750万袋から15.3%減少した。

ロボスタの4月のグリーンコーヒー輸出量は359万袋で、前年同時期の349万袋に対して2.8%増加した。2022/23コーヒー年度経過7か月間は2,638万袋、前年度同時期は2,580万袋だった。

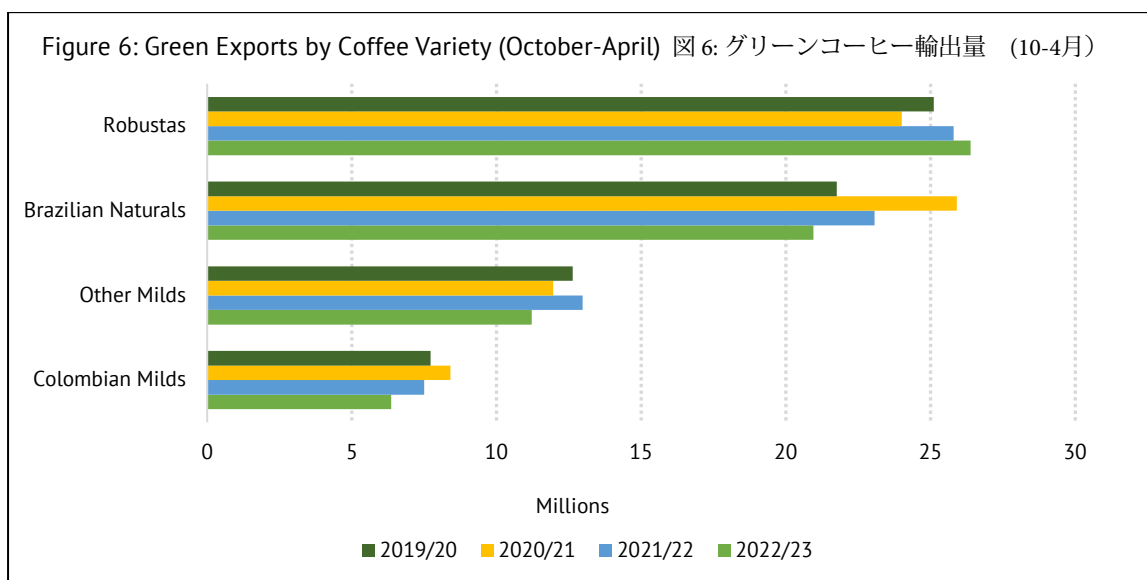
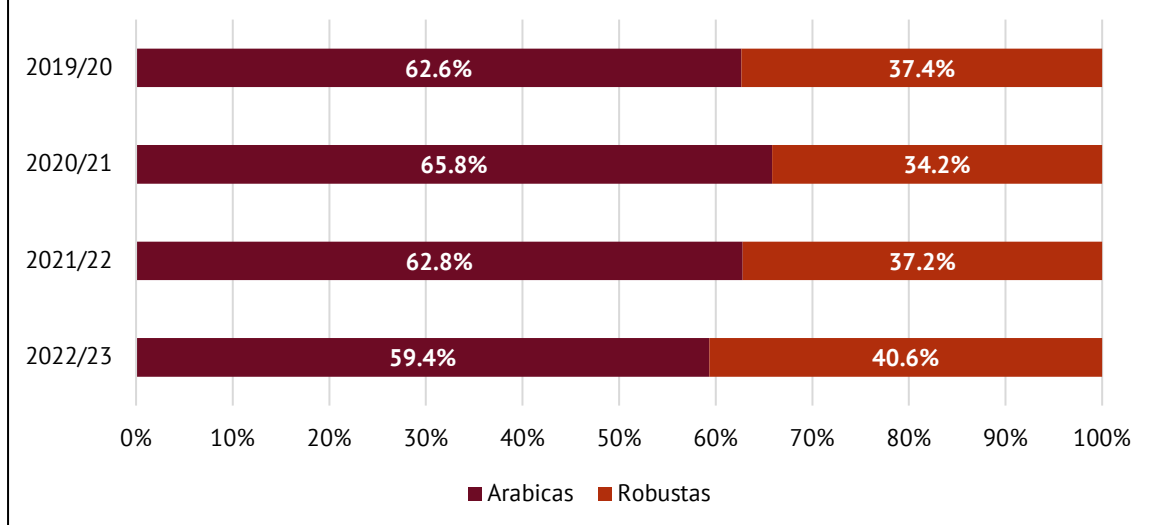


Figure 7: Share of Green Exports by Coffee Species (October-April) 図7: 生豆輸出のタイプ別内訳 (10-4月)



## 地域別の輸出 - コーヒー全形態

南アメリカ地域の4月の輸出量は6.4%減の357万袋だった。地域の主要生産国であるブラジル、コロンビア、ペルーの3カ国の合計輸出量が17.9%減少したことによる。ブラジルとコロンビアでの4月の輸出量はそれぞれ2.5%と14.8%減少して274万袋と73万袋だった。コロンビアは、悪天候により生産量が減少した。2023年4月の生産量は6%減少しており輸出減少の要因となった。ペルーの輸出量は大幅な減少が継続しており、4月は62.5%の減少だった。この低迷には、主要生産地（Cajamarca、Junín、San Martín）での社会不安による道路封鎖に加え、不安定な天候も影響した。

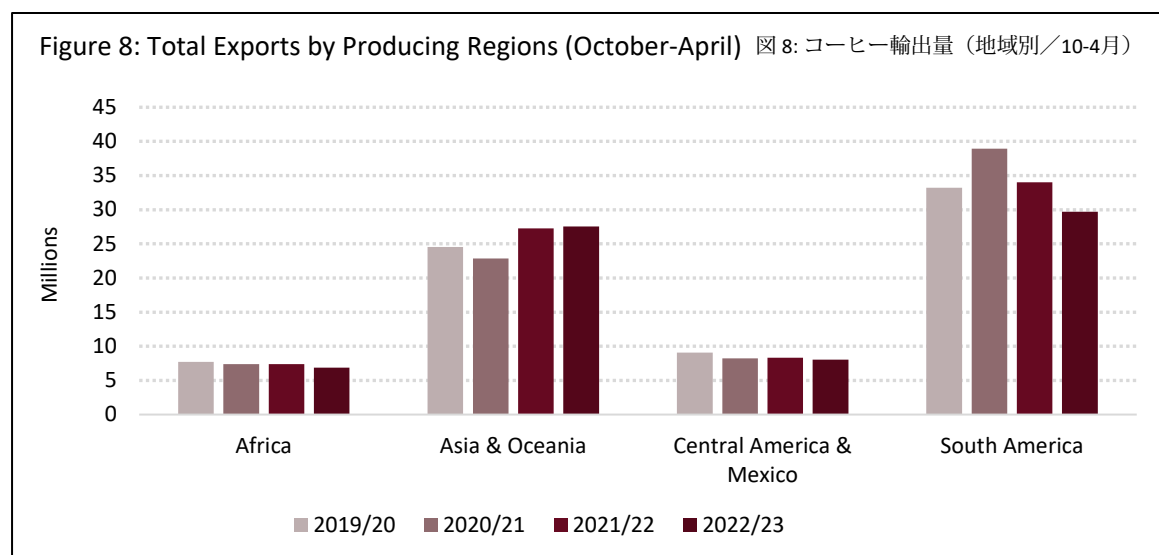
アフリカ地域の4月の輸出量は94万袋で、前年同時期の104万袋から9.8%減少した。今コーヒー年度の経過7か月の輸出量は694万袋で、前年度同時期の737万袋から5.9%減少した。減少の主な要因はエチオピア、ケニア、ウガンダの輸出量減少であり、それぞれ前年4月の34万袋から17.6%減の28万袋、9万7607袋から25.8%減の7万2240袋、41万袋から8.4%減の37万袋だった。ウガンダコーヒー開発庁は月例報告書の中で、最近の輸出減少の主な理由として、年度初めに発生した干ばつの影響、およびスーダンへの輸出量の減少を挙げた。エチオピアでは、国内購入価格と世界市場価格の不一致から生じる契約上の紛争が、2023年初めから輸出量に影響を与えている。紛争が解決するまで輸出業者はコーヒーの供給を控えると推定される。

メキシコ・中米地域の4月の輸出量は190万袋で、前年同時期の178万袋に対して6.3%増加した。4月での輸出量増加は、現在のコーヒー年度の経過7か月で2回目となる。その結果、累計の減少率は急激に改善しており（7か月累計は801万袋）、3月までの6か月累計の減少率6.8%から、4月までの7か月累計では減少率4.0%に回復した。コスタリカ、ホンジュラス、ニカラグアが4月の輸出量増加の原動力であり、増加率はそれぞれ27.0%、13.0%、11.2%だった。

アジア・オセアニア地域の4月の輸出量は1.0%減の375万袋、2022/23コーヒー年度経過7か月累計では1.1%増の2,755万袋だった。この地域の増加率が相対的に僅少である理由として、インドネシア（24.6%）の輸出低迷が影響しており、地域最大の生産国および輸出国であるベトナムの3.1%増を相殺したことがある。

ベトナムの経過7か月の累計輸出量は、前年度同時期の1,797万袋から6.7%増の1,918万袋だった。背景には、ベトナムの2021/22年度生産量が14.9%増加したこと、また、他の主要ロブスタ生産国が供給困難に直面していることの恩恵を受けたことがある。2022年10月から2023年4月にかけて、ブラジルのロブスタ輸出量は36.1%減、インドは31.1%減、ウガンダは6.2%減だった。

一方、インドネシアの輸出量は、同国2021/22年度のコーヒー生産量が4.7%減少したことの影響によるものと推定されている。



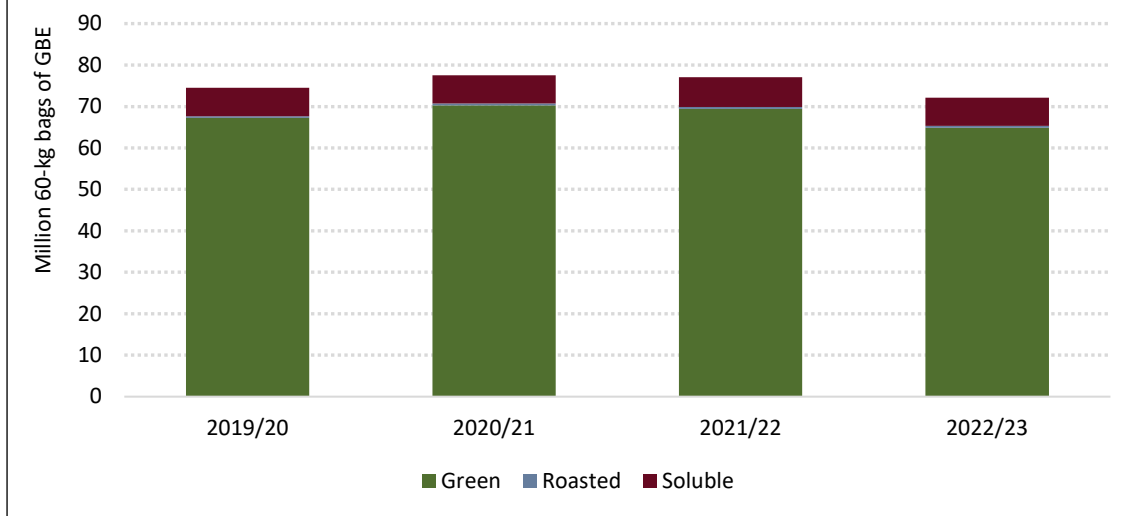
## 形態別のコーヒー輸出

ソリュブルコーヒーの4月の輸出量は前年同時期の88万袋から3.7%減の87万袋、コーヒー年度経過7か月の累計輸出量は前年同時期の710万袋から4.3%減の680万袋だった。全ての形態のコーヒー輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年4月は9.4%（12か月移動平均で測定）で、前年同時期の9.1%から増加した。ブラジルはソリュブルコーヒーの最大の輸出国であり4月の輸出量は34万袋だった。

焙煎豆の4月の輸出量は7万2,925袋で前年同時期の6万2,689袋に対し38.6%増加した。2022/23コーヒー年度の経過7か月累計44万袋で前年度同時期は45万袋だった。



Figure 9: Total Exports by Form (October-April) 図9: コーヒー輸出量 (形態別/10-4月)



## 生産量と消費量

2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値に変更は無い。2021/22年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。南アメリカ地域の生産量は2021/22年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22年度に6.0%増から2022/23年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれる。

上記見通しは、国際コーヒー機関(ICO)の事務局統計セクションの最新の出版物であるCRO(Coffee Report and Outlook)からの抜粋である。CROは、最近の世界のコーヒー業界を動かした要因についての洞察を提供し、近い将来に業界を牽引する可能性のある事象を描き出すものである。

CROは、ICOのWebサイト([www.icocoffee.org](http://www.icocoffee.org))からダウンロードできます。CROの詳細については、[stats@ico.org](mailto:stats@ico.org)の統計セクションにお問い合わせください。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
<b>Monthly averages</b>							
May-22	193.71	286.44	260.42	217.84	103.10	218.61	94.31
Jun-22	202.46	301.57	273.69	230.40	103.81	229.38	94.48
Jul-22	190.82	286.07	255.91	214.80	100.44	210.84	89.60
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
<b>% change between Apr-23 and May-23</b>							
	-1.7%	-3.4%	-4.1%	-4.3%	5.9%	-2.2%	6.8%
<b>Volatility (%)</b>							
Apr-23	8.7%	9.0%	9.2%	10.8%	7.7%	11.1%	7.9%
May-23	8.6%	9.4%	10.3%	10.8%	7.4%	10.4%	7.5%
<b>Variation between Apr-23 and May-23</b>							
	-0.1	0.4	1.1	0.0	-0.3	-0.7	-0.4

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Jun-22	27.88	71.18	197.76	43.29	169.88	126.59	134.90
Jul-22	30.16	71.27	185.63	41.10	155.46	114.36	121.24
Aug-22	27.23	73.75	186.01	46.52	158.78	112.26	119.79
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
<b>% change between Apr-23 and May-23</b>							
	28.6%	1.4%	-12.4%	-2.9%	-14.3%	-19.2%	-13.8%

\* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
<b>PRODUCTION</b>	<b>167,568</b>	<b>169,884</b>	<b>168,387</b>	<b>170,868</b>	<b>168,485</b>	<b>171,268</b>	<b>1.7%</b>
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
<b>CONSUMPTION</b>	<b>165,637</b>	<b>170,876</b>	<b>167,593</b>	<b>168,569</b>	<b>175,605</b>	<b>178,534</b>	<b>1.7%</b>
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
<b>BALANCE</b>	<b>1,932</b>	<b>-992</b>	<b>794</b>	<b>2,298</b>	<b>-7,120</b>	<b>-7,266</b>	

\*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出货量

	Apr-22	Apr-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
<b>TOTAL</b>	<b>10,422</b>	<b>10,153</b>	<b>-2.6%</b>	<b>76,956</b>	<b>72,194</b>	<b>-6.2%</b>
Arabicas	6,479	6,158	-5.0%	47,474	42,520	-10.4%
Colombian Milds	995	850	-14.6%	8,170	7,002	-14.3%
Other Milds	2,416	2,470	2.2%	14,553	12,935	-11.1%
Brazilian Naturals	3,067	2,839	-7.5%	24,750	22,583	-8.8%
Robustas	3,943	3,995	1.3%	29,482	29,674	0.7%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Jun-22	Jul-22	Aug-22	Sep-22	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23
New York	1.04	0.77	0.72	0.45	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66
London	1.76	1.80	1.61	1.59	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39

In million 60-kg bags